

第 12 回東京多摩地区 5 国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和 7 年 3 月 1 8 日（火）13：30～16：05 WE B 会議（Zoom）	
委 員	委員長 林 静雄（東京科学大学名誉教授） 委 員 相葉 和良（弁護士） 委 員 清水 至（公認会計士）	
審議対象期間	令和 5 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 3 0 日	
抽 出 案 件（合計）	7 件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 抽出案件の個別審議は、委員 3 名により審議を行った。 その際、委員会資料「資料 8－①～⑦」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
工 事（小計）	5 件	
一 般 競 争 入 札 （政府調達に関する協定対象工事）	0 件	
一 般 競 争 入 札 （上記工事を除く）	4 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随 意 契 約	1 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	2 件	
一 般 競 争 入 札	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問等	回 答
審議に先立ち、今年度の庶務担当である東京外国語大学から委員の紹介の後、委員長の選出を行い、林静雄委員を委員長に選出した。 次に議題について説明があった。 議題 1 ～ 3 東京外国語大学から資料 1 ～ 7 に基づき、説明があった。資料は、事前配付しており、概要説明後、承認された。	
議題 4 5 大学建設工事及び設計・コンサルティング業務抽出案件の審議 1) <u>工事：一般競争入札（最低価格落札方式）</u> 【アゴラ・グローバル太陽光発電設備設置（Ⅱ期）工事】 （東京外国語大学） （東京外国語大学より資料 8-① に基づき、工事概要、競争案件において応札者が 1 者のみの事業となった理由を説明） 応札したのはⅠ期工事と同じ業者だったのか。別の業者でも実施可能な内容であったのか。複数業者が参加できるような工夫等をしたのか。公告において、Ⅰ期工事と別の業者で実施可能であることが分かる説明とする工夫が必要と考える。 資料 8-① に入札経緯等の資料が不足しているのではないか。	競争参加資格を広げる工夫は行った。特定の業者しか参加できない工事ではないと考える。 そのようにする。 提出資料が不足していた。追加で提出する。

意見・質問	回 答
2) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（標準型）、施工体制確認型総合評価落札方式）</u> 【府中幸町団地西東京国際イノベーション共創拠点新営工事】 （東京農工大学） （東京農工大学より資料8-②に基づき、工事概要、競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業となった理由を説明） 参加業者の中で落札業者の落札率が特に高かった理由は何があると考えられるか。 応札金額から見ると予定価格が低いのではないと思われる。 予定価格の積算方法は頻繁に変わるのか。積算時に修正する余地はあるのか。 見積もりを取った事業は入札価格と予定価格がほぼ一致している（高落札率）が、見積もりを取らない事業は低入札になっている。見積もりを取るによって低入札を防ぐことができるのであれば今後予定価格に際して工夫が必要ではないか。	国土交通省の積算基準を使用して予定価格を算定しており、知識のある業者であれば推定することも可能と考えられる。 物価変動が大きい時期であったので差が出やすかったかと推察される。 補正率等が入ることはあるかと思うが、積算基準によるものなので制約はある。 審議案件によって理由書の書式が異なっているため、積算の際の見積もり取得の有無を記載している事業としていない事業がある。本学では、同じ方法で積算しており、工種によって見積を取る取らないはあるが、事業ごとで見積を取る取らないの区分けはない。
3) <u>工事：一般競争入札（最低価格落札方式）</u> 【(国立)第3研究館103室空調設備改修工事】 （一橋大学） （一橋大学より資料8-③に基づき、工事概要、競争入札において落札率が50%以下の事業となったことの理由を説明） 「入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上」にも該当しているのではないか。それについての理由書が必要なのではないか。	追加で資料を提出する。

意見・質問	回 答
4) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【附属小金井小学校校舎本館（Ⅱ期）改修電気設備工事】 （東京学芸大学） （東京学芸大学より資料8-④に基づき、工事概要、入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の事業となったことの理由を説明） 電気工事の低入札業者の割合が高いことについて、出来る工夫はないか。	前年度の応札状況等に基づいて予定価格算出の単価の査定をしており、リアルタイムな反映は難しいがそのような取組を行っている。
5) <u>工事：随意契約</u> 【共創進化型自立分散エネルギー・ネットワーク共創拠点施設（Z E B R e a d y）新営機械設備工事】 （電気通信大学） （電気通信大学より資料8-⑤に基づき、工事概要、随意契約の事業となったことの理由を説明） 随意契約した業者が当初入札には参加しなかった理由は何か。 入札に参加し辞退した業者の辞退理由は。 入札参加資格がA、Bだが基準の等級は。C等級を含めることは出来なかったのか。	入札参加資格の等級に該当していなかった。随意契約の際には、確認のうえ対象とする等級を広げている。 技術者の確保が難しかったためとのこと。 予定価格に応じた等級はB等級であった。国立大学法人電気通信大学契約事務取扱規程で1級上位若しくは2級上位または1級下位を追加できると決められているため、C等級は含めることは出来なかった。

意見・質問	回 答
6) <u>設計・コンサルティング業務：簡易公募型プロポーザル（拡大）</u> 【（調布）共創進化棟（仮称）整備運営事業に係るアドバイザー業務】 （電気通信大学） （電気通信大学より資料8-⑥に基づき、業務概要、プロポーザル方式において応札者が1者のみの事業となったことの理由を説明） 建築のアドバイザー業務を実施するのは初めてか。早期の公募を行うことが必要だったのではないかと考える。 7) <u>設計・コンサルティング業務：一般競争</u> 【小金井団地附属小金井小学校校舎本館（Ⅲ期）改修設計業務】 （東京学芸大学） （東京学芸大学より資料8-⑦に基づき、業務概要、競争入札において落札率が50%以下の事業となったことの理由を説明） 予定価格と調査基準価格が大きく開いているがどのように決めているのか。	PFI 事業のアドバイザー業務を実施するのは初めてであった。 調査基準価格を設定する必要はなかった事業であったが誤って算出をしていた。
議題5. その他 理由書書式について、点検事項により記載内容が異なっているが必要があるのか。見直しては。	確認し検討する。

【講評】

特段指摘事項等はない。適切に入札が行われていると考えられる。書類の不備が多かったので、余裕を持って準備してほしい。	
--	--